

<事業名> 豊岡のまちなみの魅力発信

団体名	豊岡まち塾
所在地	豊岡市
代表者名	朝日 健司

事業内容	<p>日時 R4年8月9日からR5年2月27日</p> <p>場所 豊岡市</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊岡の守るべき町並み」映像の制作              会員が発信するべき場所の調査・題材等を見つける会議や現地調査の実施。              町並み題材の編集・企画・調査をしながら、映像作家に動画作成の相談・依頼・協議をしながら上映会の準備や広報を開始。</li> <li>・町並みローカルガイドの養成講座の実施              ローカルガイドのコースを設定するための現地調査や意見交換を年間を通して実施。              ローカルガイド養成講座は既に、復興建築やまちなみなどの地域資源を活用したローカルガイドを実践されている講師に依頼し、全4回開催。各回5名～10名が参加し、今後実際にローカルガイドを実践するための具体的な方法のレクチャーを受けた。</li> </ul> <p>上映会は午後16:00から30分間、豊岡稽古堂1階で、豊岡劇場のあるまちなみについてをテーマにしたドキュメント映像の映写会を開催した。その後は意見交換などを実施。参加者は12名。まち塾会員と地域おこし協力隊隊員、近隣の方に周知して実施した。映像の内容は、以前に作成したものに加えて今回作成した映像も上映。映写後には、参加者から昔の風景の話や現在との違い、今後のまちなみ保存についての意見がいただけて内容も好評であった。</p>
	地域
事業の効果	<p>(1) 団体（組織）内の効果              コース設定や映像制作を行うことで、会員やその知人等からの昔の写真の提供や情報の交換の機会が多くなり交流が以前より盛んに行われた。またローカルガイドの講習を行うことで、会員が能動的に活動していく目標が見え、今後の活動に対しての提案や改善点など意見が多く寄せられた。また、新規で入会した若い世代の会員も新しいアイデアなどを提案してまちなみをPRしていきたいという申し出もあった。また上映会は非常に好評だったため、随時、地域の各地で開催するなど来年度も継続していくことになった。</p> <p>(2) 地域への波及              阪急旅行社から、バスツアーのなかのオプションコースとして豊岡市街地を案内する企画を依頼された。また、芸術文化観光専門職大学の豊岡市役所インターンシップの学習コースとしてもまちなみのガイドの体験を依頼された。イベント後、地域の映画上映制作団体からも「豊岡のまちなみ」をテーマにして上映会をしたいとの要望や、豊岡駅前的大型複合商</p>

	業施設アイティのホールなどで映像を流したいとの要望があった。活動を通して地域とのつながりができたことは、まちなみ保存の活動を継続していくうえで良い効果だと感じている。			
事業経過	月 日	実施内容	場 所	参加人数
	8月9日	打ち合わせ	豊岡市役所 2F 会議室	3人
	9月23日	コース選定調査	豊岡市街地	6人
	11月18日	打ち合わせ	豊岡市役所 2F	3人
	11月-12月	広報・動画撮影開始等	豊岡市街地・豊岡劇場	4人
	12月25日	動画編集会議等	ハラマキビル	6人
	1月19日	動画編集会議等	ハラマキビル	3人
	1月20日	動画編集会議等	ハラマキビル	3人
	1月21日	動画編集会議等	ハラマキビル	6人
	1月22日	ローカルガイド養成講座①	ハラマキビル・出石永楽館	12人
	1月22日	ローカルガイド養成講座②	出石まちづくり公社	15人
	2月5日	ローカルガイド養成講座③	豊岡市稽古堂	14人
	2月5日	ローカルガイド養成講座④	豊岡市稽古堂	16人
	2月5日	豊岡のまちなみ映像上映会	豊岡市稽古堂	16人
	2月24日	反省会	豊岡市役所 2F 会議室	6人
2月27日	収支計算処理など終了	まち塾事務局	3人	
協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡まちなみ連盟： 広報宣伝の協力</li> <li>・兵庫ヘリテージ機構 H20 但馬： 広報宣伝の協力</li> <li>・豊岡商工会議所： 広報宣伝の協力・商工会 HP への情報掲載</li> <li>・豊岡市役所： 地域おこし協力隊の活動バックアップ</li> <li>・豊岡市地域おこし協力隊： まち塾の会員として企画・事業の実施を全面的に関わってもらった</li> <li>・豊岡映画センター： 上映会の機器セッティング・映像の編集会議に協力。今後の上映会の企画提案に関わってもらった。</li> <li>・芸術文化観光専門職大学： 学生への広報宣伝への協力</li> </ul>			
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等          新型コロナウイルスの影響で生活スタイルが変化し頻繁に対面で会う機会が減った。会員全員が集まる機会が難しいのでグループラインやオンラインなどを活用した活動も考えていきたい。上映会やガイド講座を通じて、はじめてまち塾を知ってもらうことが多く、取り組み自体に高評価をもらえたが、もっと団体の活動を周知することが必要だと痛感した。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等          豊岡まち塾に配属された地域おこし協力隊の隊員が、まちなみについての展示や空きビルの活用など実践的にまちなみ保存活動を継続してくれているので、地域の若者などとも関わる機会が増えた。また芸術文化観光専門職大学の学習コースとして、まちなみについての取り</p>			

組みをレクチャーする機会があったが、意外と学生が豊岡のまちなみについて知らないということも分かった。豊岡映画センターなど外部の団体が、上映会を企画したいと要望もあるので、今後も地域との交流をさらに深めていきたい。また、豊岡演劇祭に関わる人たちからも、アーティストへのまち案内などを要望されているので、一緒になって、地域連携を図っていきたい。

令和4年度以降の事業計画としてはドキュメント映像などを、引き続き各地で上映を行って行きたい。ローカルガイドの養成に関しては、明確な課題も見つけることができたので、今後はそれらを整えつつ講座も継続していきたい。また旅行者や大学からのまちなみ案内など、ガイドの実施機会も増えるので継続的にまちなみの魅力発信を実施したい。



4年11月-12月 会議の様子



4年11月-12月 動画撮影



5年2月5日 豊岡のまちなみ映像上映会



5年1月22日 養成講座②



5年2月5日 養成講座③④



5年1月22日 養成講座②